

# 高石市教育委員会定例会会議録

(平成26年7月定例会)

## 開会及び閉会の年月日時

開 会	平成26年7月16日午後3時7分
閉 会	平成26年7月16日午後3時40分

## 会議に出席した者の職及び氏名

委 員	委 員 長 : 佐野 慶子 委員長職務代理者 : 西中 隆 委 員 : 吉村 文一 委 員 : 西村 陽子 教 育 長 : 藤原 一広
事務局職員	教 育 部 長 : 浅井 淳一 教育部理事兼次長 : 細越 浩嗣 教育部次長兼教育総務課長 : 佐藤 量泰 教育指導課長 : 吉田 種司 教育指導課長代理兼人権教育推進室長 : 松田 訓一 教育研究センター室長 : 清水 寛之 生涯学習課長 : 杉本 忠史 生涯学習課参事兼体育館長 : 矢部 正信 たかい市民文化会館長兼図書館長 : 石田 直美 中央公民館長 : 松井 勉 教育総務課長代理兼総務係長 : 山本 敬司 教育総務課総務係主査 : 足立 和哉

## 議題及び議事の要旨及び議決事項

### ・議案第1号 高石市公民館運営審議会委員の委嘱について

生涯学習課長	本案については、社会教育法第30条第1項及び高石市公民館条例第7条の規定に基づき、候補者名簿のとおり高石市公民館運営審議会委員を委嘱するものである。 内容については、高石市連合自治会において役員の異動があり、連合自治会における役割分担が決定されたことにより、公民館運営審議会委員として現在委嘱を行っている連合自治会副会長堀内勝美氏から石田孝文氏に変更となったので、新たに公民館運営審議会委員として委嘱するものである。 なお、委嘱年月日については平成26年7月16日、任期については前任者の残任期間である平成27年3月31日までとなっている。
採決	可決

## 教育長の報告の要旨

### ・報告第1号 高石市教育委員会委員の任命について

教育総務課長	平成26年6月30日付で、教育委員の原田委員が辞任し、その後任として吉村文一氏が去る6月12日に開催された平成26年第2回高石市議会定例会において全会一致で同意が得られた。また、議会の同意に基づき、市長から教育委員会委員への任命辞令が交付されたので、その旨報告するものである。なお、吉村委員の任期は、前任の残任期間である平成26年7月1日
--------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	から平成28年3月5日となる。
各委員	質問なし。

・報告第2号 教育委員会の後援等に関する報告について

各課長	後援承認したものについて説明。
各委員	質問なし。

・報告第3号 教育委員会関係諸行事等の報告について

各課長	平成26年5月14日から平成26年6月9日までの行事について説明。
各委員	質問なし。

その他委員長が必要と認めた事項

西中委員長 職務代理者	<p>教育研究センターの7月18日の初任者研修（初任者交流会）について、26年度で高石市の幼小中で、初任者として、男性と女性がそれぞれ何人採用されたか。</p> <p>また1年間の初任者に対する研修のあり方について説明してほしい。</p>
教育研究 センター室長	<p>今年度採用された初任者については、14名であるが、そのうち中学校の男性1名については、他府県で経験があるということで、初任者研修の対象とはなっていない。その者を除くと初任者研修対象者は13名が本市に配属されている。小学校が8名、中学校が5名。そのうち、男性の初任者については5名、女性の初任者については8名、小中学校に配属されている。</p> <p>初任者研修のあり方としては、まず府教センターが主に行っている大阪府の初任者研修が年間25回ある。その25回の中には、高石市に委託されている研修会が年間5回ある。それ以外に、市独自に実施している研修会については、この7月18日に行っている初任者の交流会を学期末に行っている。この初任者交流会の内容については、初任者同士の交流を深めるために、同期採用の者同士が交流を図って、お互いの悩み等を打ち明けて、また次の学期に活かしていくというような趣旨で実施している。</p>
西中委員長 職務代理者	男女比は小中一括して5と8であったが、小・中の内訳はわかるか。
教育研究 センター室長	小学校8名のうち男性が3名、女性が5名である。中学校5名のうち男性が2名、女性が3名である。
西中委員長 職務代理者	他市から来た1名というのは男性、女性どちらか。
教育研究 センター室長	男性である。
西中委員長 職務代理者	定期的な研修だけでなく、日常的な特に小中の教員の研修として、マン・ツー・マンですという体制はないのか
教育部理事	<p>OJTになるが、校内の研修、初任者研修については、各学校において初任者担当の教員を各学校長が選んでいる。その中で、大阪府からは、初任者指導の加配教員を小学校2名、中学校1名いただいている。</p> <p>その加配教員については、その配置校だけでなく、残りの学校にも出向いて、毎週初任者の研修を実施している。</p> <p>また、今年から退職校長を学力向上支援コーディネーターという職で教育研究センターの非常勤職員とし、学力向上の担当だけでなく、初任者に対する経験を踏まえたアドバイスのため、各学校を訪問指導しており、昨年度以上により丁寧な初任者指導を行っている。</p>

	加えて、各学期に必ず研究授業を実施しているので、この各学期の教科や道徳の研究授業については、教育指導課の指導主事も含めて指導助言を入れながら、初任者の指導を行っている。
西中委員長 職務代理者	学力支援コーディネーターは何人いるのか。
教育部理事	今年は1名である。
西中委員長 職務代理者	今年から始めたのか。
教育部理事	以前から教育研究センターに配属している退職校長の相談員についても、研究授業等の授業研究については、学校の指導助言にも入っていただいているので、現在実際に機能しているのは2名である。
西中委員長 職務代理者	平素は教育センターにいるのか。
教育部理事	そのとおりである。
西中委員長 職務代理者	それは、どなたか。
教育部理事	一昨年から配置しているのは、安田義信先生である。今年学力向上支援コーディネーターになったのが、小川勝巳先生である。
西中委員長 職務代理者	安田先生と小川先生ということだが、コーディネーターというのは中学校籍ということになっているのか。
教育部理事	学力向上の支援ということ、さらに学校全体の学校運営のコーディネーターの指導助言なども含めての担当ということで退職校長としているが、別に小中を選んでいるわけではない。
西中委員長 職務代理者	校長の学校管理運営についての指導もするという立場になるのか。
教育部理事	そういうアドバイスもする。